

登録コード	E2900900	開講年度	2026				
授業科目	英語学基礎					担当教員	田中 江扶
英文授業名	English Linguistics					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限		対象学生
講義室	教育N301講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				英語学の知見に基づき、学校文法を有機的に理解できるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				英語学の知見に基づき、小・中学校の接続も踏まえながら、中学および高等学校の英語の授業を担当するために必要な背景的な知識を身に付ける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	前半は統語論，意味論・語用論等を扱い，後半は音声学・音韻論，形態論，言語習得の過程等をあつかう。基本的文献を読みながらこれらの領域での基礎的概念を紹介し，英語教育への応用を検討する。						
(5)授業計画	第1回：統語論 第2回：意味論 第3回：語彙意味論 第4回：機能論・語用論 第5回：学校文法と言語理論（構文中心） 第6回：学校文法と言語理論（日英語比較の観点から） 第7回：英語の歴史的変遷と国際共通語としての英語 第8回：音声学の基礎 第9回：音韻論の基礎 第10回：音声学・音韻論の英語科教育への応用 第11回：形態論の基礎 第12回：形態論の英語教育への応用 第13回：言語習得の過程 第14回：言語習得理論の英語教育への応用 定期試験・アンケート						
(6)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 ・最終試験（50％）、レポート（50％） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業で扱った例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	前週の授業内容の理解を問う確認テストを行う場合があるので、授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	期末テストとして筆記試験を行う。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	基本的に平日の9時から18時に研究室(N230)にいます。 メールアドレス：kout@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	最初の授業の際に指示（適宜、プリントも配布）						
【参考文献】	授業時に適宜指示する						